令和8年度（第4回）玉野市地域公共交通会議

「交通空白」解消等リ・デザイン全面 展開プロジェクト（地域交通 DX 推進タイプ）

国交省標準仕様データを用いた地域交通総合シミュレータによる地域公共交通計画策定業務の高度化検証事業

概要ご説明資料

2026年8月18日
コガソフトウェア株式会社
富士通株式会社

© 2026 Fujitsu Limited

地域交通総合シミュレータ

© 2026 Fujitsu Limited

Social Digital Twin™

FUJITSU

社会全体をデジタル化
施策の改善・高度化を支援

デジタル空間での施策の事前検証

人々や社会のモデル

デジタル空間に再現された実世界データ

センシング

実世界

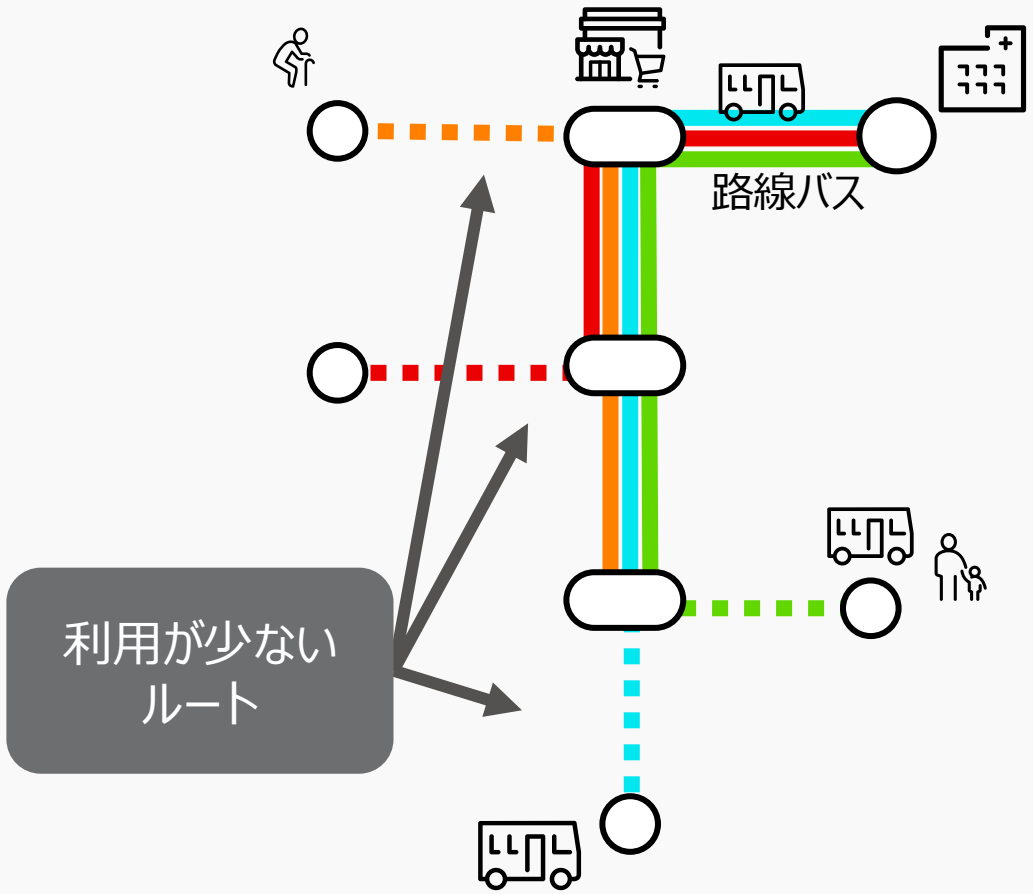


© 2026 Fujitsu Limited

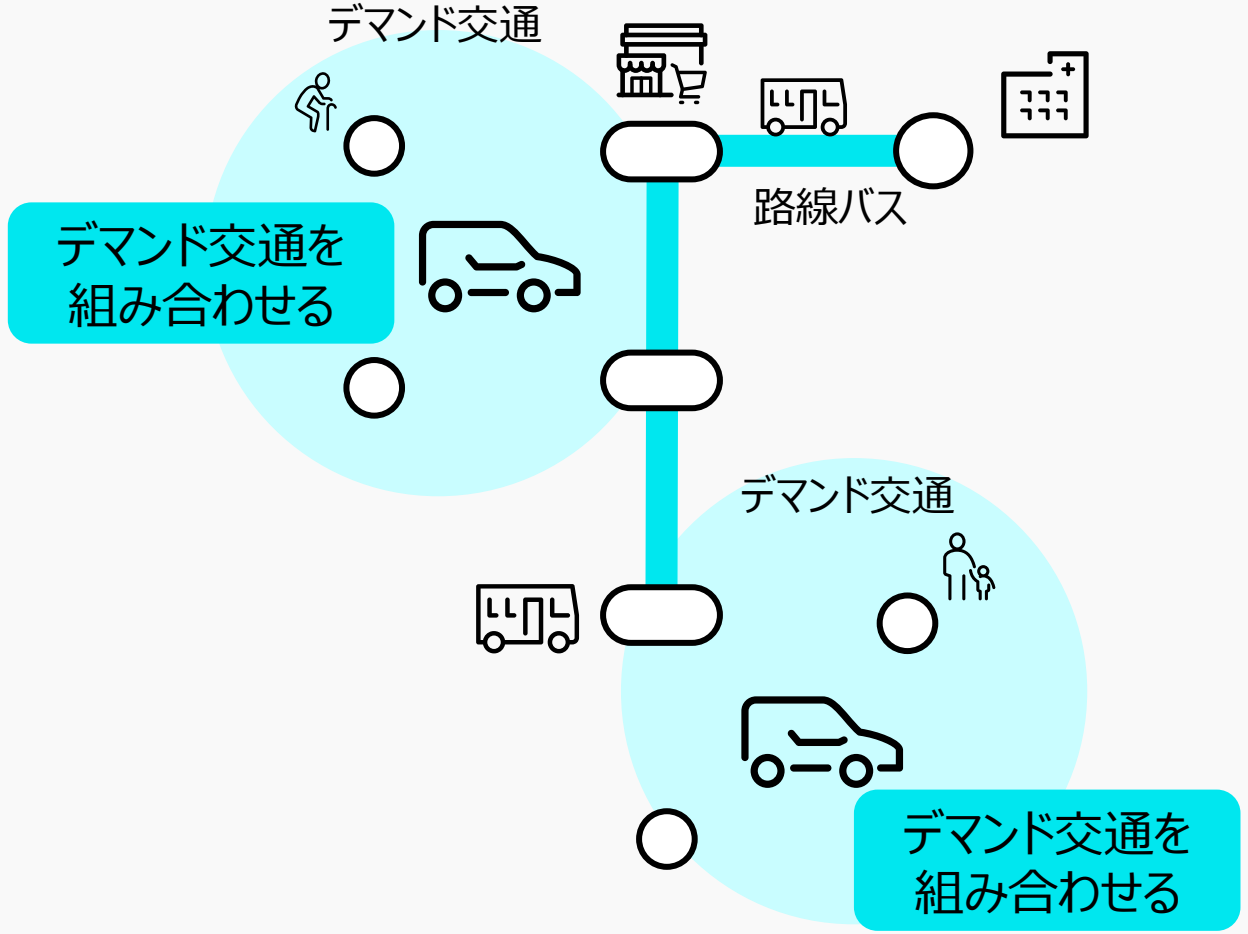
ケーススタディ

FUJITSU

従来のバスを中心とした交通網



デマンド交通を組み合わせた新しいモビリティ社会



© 2026 Fujitsu Limited

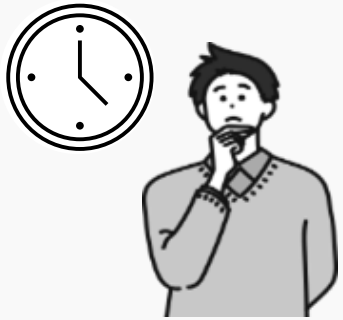
課題とソーシャルデジタルツインによる効果

FUJITSU

現状

アナログに施策を検討

時間とコストの浪費 が発生





将来像

データに基づき高度にシミュレーション

迅速な合意形成と施策実行





データ入手や検討の長期化	時間とコスト	オープンデータ×信頼できる技術で迅速に設計
「利便性」と「経済性」のトレードオフで合意が難航	合意形成	多様な選択肢とKPI評価に基づき合意形成を促進
やってみないとわからない	施策効果	効果予測に基づく実行、PDCAの高頻度化

© 2026 Fujitsu Limited

国土交通省COMmmmONSにおける実績

© 2026 Fujitsu Limited

取組概要

路線バスやデマンドの運行に関する事前シミュレーションモデルの構築

システム概要

- 令和7年度に、国交省直轄プロジェクト(コモンズ)にて、
  『路線バス＋デマンドの総合交通シミュレーション』を富士通が開発

（実証フィールド：前橋市）



COMmmmONS とは？

Code for Mobility Common Society

国土交通省が主導する地域交通DX推進プロジェクト

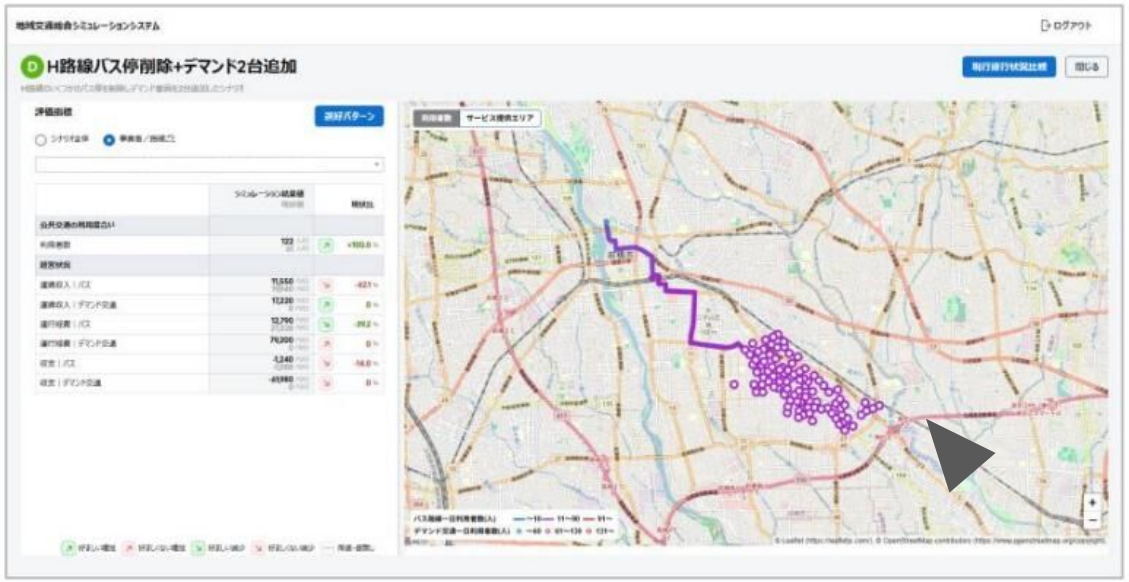
- 事業者や地域ごとに業務やシステムなどが独自に構築され、それぞれのサービスやデータが連携していない地域交通の「サイロ化」の課題を解決し、連携・協働を軸とした地域交通のDXを体系的に推進するためのプロジェクト。
- 具体的には、サービス、データ、マネジメント、ビジネスプロセスの4つの柱で協調領域における相互運用性確保のためのデジタル活用のベストプラクティス創出と、その成果の標準化を一体的に推進することを目的。
- コモンズの標準仕様や技術仕様を社会の共通財産として公開・普及させることにより、地域交通の連携・協働の技術的基盤の提供を推進。

取組概要

路線バスやデマンドの運行に関する事前シミュレーションモデルの構築

システム概要

- 地域公共交通計画策定における課題を解決するため、地域内の移動需要予測、需要毎の移動手段推定等の機能を、定時定路線型交通とデマンド型交通を統合して提供する総合シミュレーションを開発
- 全国規模の統計データやMaaSアプリから取得可能なデータなど、一般的に利用可能なデータを活用した移動需要生成技術及び交通分担率推定技術を実装
- 生成した移動需要に対してAIを用いた行動選択モデルを適用し、地域公共交通計画における各交通モードの交通分担率を算出可能な機能を実装







事例（国土交通省COMmmmONSでの取組）

FUJITSU

FUJITSU

企業情報 Press Room 株主・投資家情報 (IR) 採用 検索

産業別 サービス 知見 Uvance Uvance Wayfinders テクノロジー サステナビリティ

Press Room > 国内初となる定時定路線型交通とデマンド型交通を組み合わせた総合交通シミュレーションが群馬県前橋市様の地域公共交通計画策定に採用

PRESS RELEASE

国内初となる定時定路線型交通とデマンド型交通を組み合わせた総合交通シミュレーションが群馬県前橋市様の地域公共交通計画策定に採用

国土交通省推進プロジェクトにおいて、持続可能な公共交通の実現に貢献

2026年3月23日
富士通株式会社

uvance

国土交通省が事業実施主体である地域交通DX推進プロジェクト「COMmmmONS（以下、コモンズ）」において当社が受託開発した総合交通シミュレーションシステム（以下、本システム）が、このたび群馬県前橋市様において2026年3月23日に公表された「前橋市地域公共交通計画」の策定に採用され、本システムによる分析結果が、同計画における主要施策の一つであるバス路線増便の方針を裏付ける科学的根拠として掲載されました。

2026.3.23
プレスリリース

© 2026 Fujitsu Limited

7. 複数バス事業者、デマンド組合せ　複合シナリオシミュレーションのデモ

評価指標	A 現状運行 詳細	B H路線バス停削除 詳細	C H路線バス停削除+デマンド1台追加 詳細	D H路線バス停削除+デマンド2台追加 詳細
モード別利用状況				
総移動需要｜デマンド交通	153 人/日	↘ 149 人/日	↗ 172 人/日	↗ 192 人/日
総移動需要｜バス	2,348 人/日	↘ 2,315 人/日	↘ 2,334 人/日	↘ 2,345 人/日
総移動需要｜鉄道	414 人/日	↗ 419 人/日	↗ 423 人/日	↗ 422 人/日
総移動需要｜自家用車	91,647 人/日	↗ 91,664 人/日	↗ 91,657 人/日	— 91,647 人/日
総移動需要｜徒歩	25,934 人/日	↗ 25,949 人/日	↘ 25,910 人/日	↘ 25,890 人/日
総利用者数｜デマンド交通	153 人/日	↘ 149 人/日	↗ 172 人/日	↗ 192 人/日
総利用者数｜バス	2,348 人/日	-33 2,315 人/日	+19 2,334 人/日	+11 2,345 人/日
総利用者数｜鉄道	414 人/日	↗ 419 人/日	↗ 423 人/日	↗ 422 人/日
総利用者数｜自家用車	91,647 人/日	+17 91,664 人/日	-7 91,657 人/日	-10 91,647 人/日
総利用者数｜徒歩	25,934 人/日	↗ 25,949 人/日	↘ 25,910 人/日	↘ 25,890 人/日
分担率｜デマンド交通	0.1 %	— 0.1 %	— 0.1 %	↗ 0.2 %
分担率｜バス	2.0 %	↘ 1.9 %	↘ 1.9 %	— 2.0 %
分担率｜鉄道	0.3 %	↗ 0.4 %	↗ 0.4 %	↗ 0.4 %
分担率｜自家用車	76.1 %	— 76.1 %	— 76.1 %	— 76.1 %
分担率｜徒歩	21.5 %	— 21.5 %	— 21.5 %	— 21.5 %

↗ 好ましい増加　↗ 好ましくない増加　↘ 好ましい減少　↘ 好ましくない減少　— 同値・値無し

シナリオDで、「駒形デマンド」の車両数を2台に増加。

バス利用者がさらに増加して、シナリオAと同等に回復。デマンドによって、H路線への接続が回復した効果と考えられる。

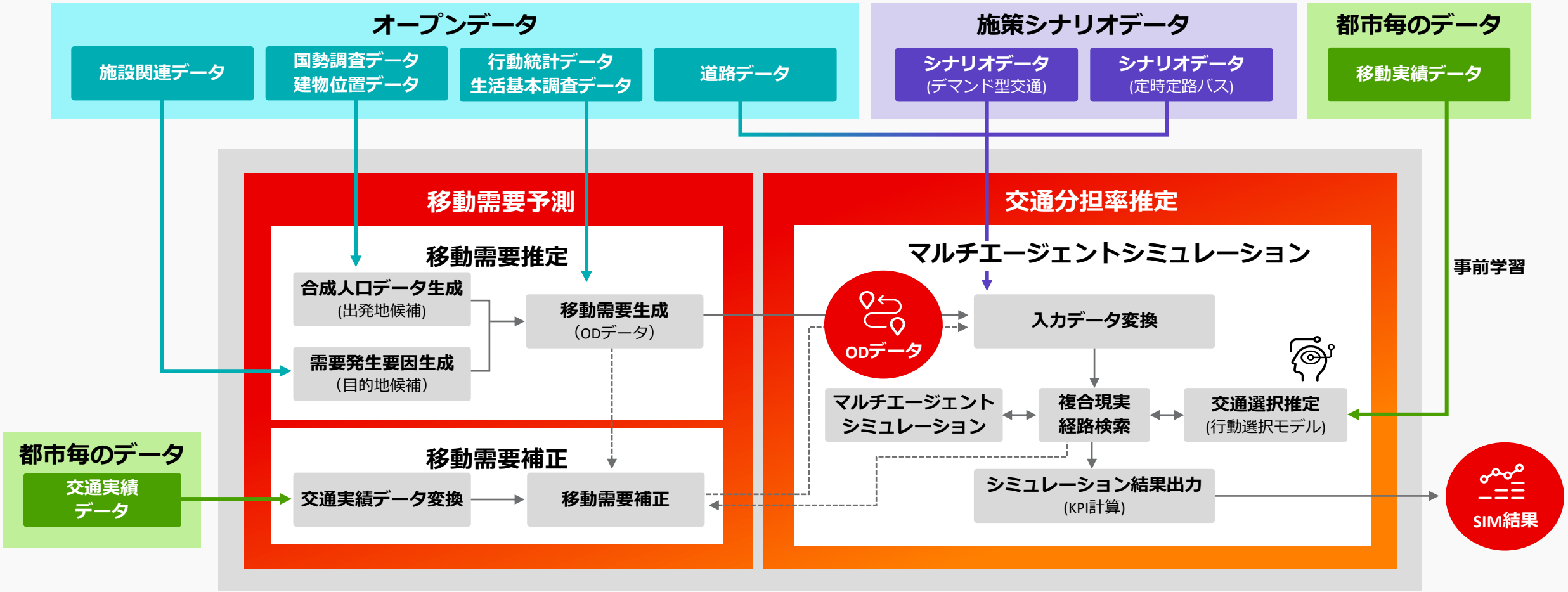
増えていた自動車利用者もシナリオAの数字まで減少。

このシナリオDで「従来と同等の公共交通を住民に提供できている」と言える。

MLIT
Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

地域交通総合シミュレータ

国勢調査等のデータから需要を取り出し、既存の交通データや行動パターンを組み合わせながら、
弊社独自技術を用いて交通計画に関わる施策案を評価。



© 2026 Fujitsu Limited

2026年度に参画する事業概要

© 2026 Fujitsu Limited

公開不可

「交通空白」解消等リ・デザイン全面 展開プロジェクト（地域交通 DX 推進タイプ）【国交省標準仕様データを用いた地域交通総合シミュレータによる地域公共交通計画策定業務の高度化検証事業】

実施計画書

2026/06/29

コガソフトウェア株式会社（代表団体）

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

Ⅰ. 事業計画

1. プロジェクトのビジョン｜解決すべき社会課題

解決すべき社会課題

1.「持続可能な公共交通計画策定」の実現における課題
- 市の人口減少が続く中、地域公共交通の利用者も減少傾向にあり、バス路線の廃止や減便など公共交通の利便性が低下している。このような中、デマンド交通を含めた地域公共交通の利便性の向上を図り、新たな利用者を獲得し、持続可能な公共交通の設計が求められている。
- 人口減や学校再編に伴う公共交通の需要の変容に応じた地域公共交通の再編が求められているが需給のバランスがとれ、かつ各公共交通事業者に納得感のある地域公共交通計画を策定することが難しい。
- 地域公共交通計画は、一部の自治体職員とコンサルへの委託により実施しているが、計画策定に係わるスキルの獲得は時間を要するため、このような自治体職員を継続的に確保することが難しい。

解決アプローチ

1. 地域公共交通計画策定業務に国交省標準仕様データを用いた地域交通総合シミュレータを活用し、デマンド型交通を含む地域公共交通最適化の効率的な計画を策定する事例を創出し、横展開に繋げる。
- 令和7年度COMmmmONSにて富士通が開発した地域交通総合シミュレータを用いて実態に即した地域公共交通計画を策定する。地域交通総合シミュレータは、「乗降実績データ標準仕様書（鉄道・バス）」に準拠した路線バス実績データを補正用データとして利用し、より実態に即したシミュレーションとする。また「公共交通運行情報標準データ仕様書（GTFS-JP）v4」に準拠したGTFSデータによるシナリオの投入を可能とする。
- これら2つのデータ取り込みをユーザーである自治体職員により可能とするUI及び現状のデータを標準に準拠させる変換ツールを開発し本シミュレータに組み込む。





Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

2. プロジェクトのスコープ

#	スコープ	実施サマリ	本資料内の記載箇所
1	地域交通総合シミュレータの対象とするデータの決定	・玉野市にて交通再編方針の決定により、シミュレーションに活用するデータ(GTFS、実績データ)の決定	12. 検証計画｜検証エリア｜サービス提供事業者
2	対象データの収集	・対象となるGTFSについては公開データの入手とバス事業者との確認、実績データについては玉野市より入手	12. 検証計画｜検証エリア｜サービス提供事業者
3	対象データの標準仕様への変換	・変換ツールによるシミュレーションへのインプット	12. 検証計画｜検証エリア｜サービス提供事業者
4	システム(シミュレータ)の標準仕様への準拠	・変換後データを用いたシミュレーション実行及び関係者との結果確認	12. 検証計画｜検証メニュー
5	システム(シミュレータ)による地域公共交通計画策定支援	・シミュレータからのアウトプットを、地域公共交通計画及び関連資料に活用	12. 検証計画｜検証仮説

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

3. プロジェクトのマイルストン

#	マイルストン	実施事項
1	実施計画策定	・ プロジェクトの目的と範囲を定義 ・ 必要な要件を収集・分析
2	要件定義・設計	・プロジェクト目的及び業務要件を踏まえた要件定義・設計
3	中間検査	・業務要件定義書/要件定義書/システムインターフェース設計書等の確認による技術要件審査
4	システム開発	・地域交通データ収集 ・地域交通シミュレータの環境構築 ・地域交通シミュレータによるシミュレーション実行、ユーザーフィードバックを基に設定修正・再実行
5	完了検査	・実地検査/システム画面・帳票確認/シミュレーション結果確認等による技術要件審査
6	報告書の作成	・成果報告書を作成する

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

Ⅰ. 事業計画

4. 事業KPI

#	測定項目	KPI	事業実施年度の目標値	5年後の目標値	目標値設定根拠（前年度実績値がある場合記載してください）
1	地域公共交通計画に利用される図やグラフのうち、本システムの出力結果が用いられる割合	シミュレーション結果活用率	活用率≧30%	活用率≧30%	地域公共交通計画において、政策に関する頁において、利用される図やグラフのうち、本システムにて出力された結果を用いた頁の割合。地域公共交通計画書の該当部分の掲載頁数で比較。
2	地域公共交通計画策定に際し、ステークホルダとの合意形成に掛かる期間の削減率	合意形成に掛かる期間の削減度合	削減率40%	削減率80%	合意形成に係る期間を元に設定。市担当職員へのアンケートによって測定。 （計算式）削減率＝（（これまで合意形成にかかっていた期間）ー（シミュレータを使った場合の合意形成にかかる期間））／（これまで合意形成にかかっていた期間） ※前年度、前橋市にて計測した際は30%程度だったため、ここからUI改善などで+10p向上
3	地域公共交通計画策定に際し、ステークホルダとの合意形成に掛かるコストの削減	合意形成に掛かるコストの削減度合	削減率40%	削減率80%	地域公共交通計画策定に際し、交通コンサルタント等に作業を依頼した場合にかかるコストの削減度合。市担当職員へのアンケートによって測定。 （計算式）削減率＝（（交通コンサルに依頼する場合にかかると想定されるコスト）ー（シミュレータを使った場合の合意形成にかかるコスト））／（交通コンサルに依頼する場合にかかると想定されるコスト） ※前年度、前橋市にて計測した際は30%程度だったため、ここからUI改善などで+10p向上
4	シミュレーション結果に対する精度	シミュレーション結果精度に関するアンケート回答の平均値	平均値3以上	平均値4以上	5段階評価とし、以下の選択肢を前提に設定 5：現行より大幅に良い/4：現行より良い/3：現行並み/2：現行より悪い/1：現行より大幅に悪い
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

5. 中長期的な展開

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
地域交通総合シミュレータの開発					
1）アプリの開発・改修	COMmmmONS プロジェクトによる開発	標準化対応改修	ユーザーフィードバックを受けて随時改修（API連携,他の標準への適用改修等）		
2）事例創出	前橋市	玉野市（本事業）	オンデマンド交通サービスとのセット導入		
3）商品化		（富士通）シミュレータ商品化			
4）サービス導入			大規模自治体へのシミュレータの導入 小・中規模自治体へのシミュレータの導入 オンデマンド交通とのセット導入		目標：全国数百自治体への導入

Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

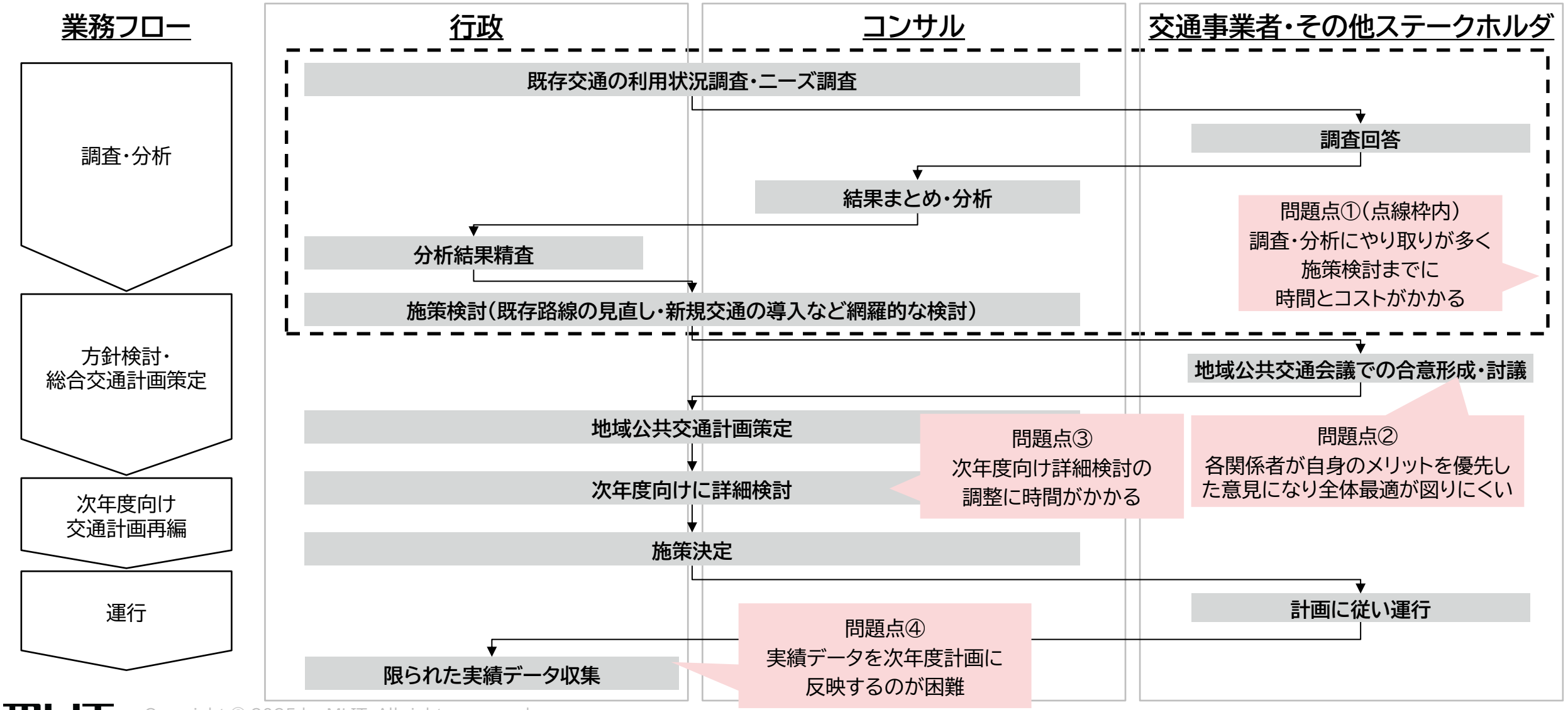
2. システムにより実現する業務フロー(1/3)

・本プロジェクトでは、令和7年度COMmmmONSにて富士通が開発した地域交通総合シミュレータを用いるため、業務フローは令和7年度COMmmmONSにて富士通が開発した地域交通総合シミュレータのものと同様である。
・業務フローを次項に示す。

Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

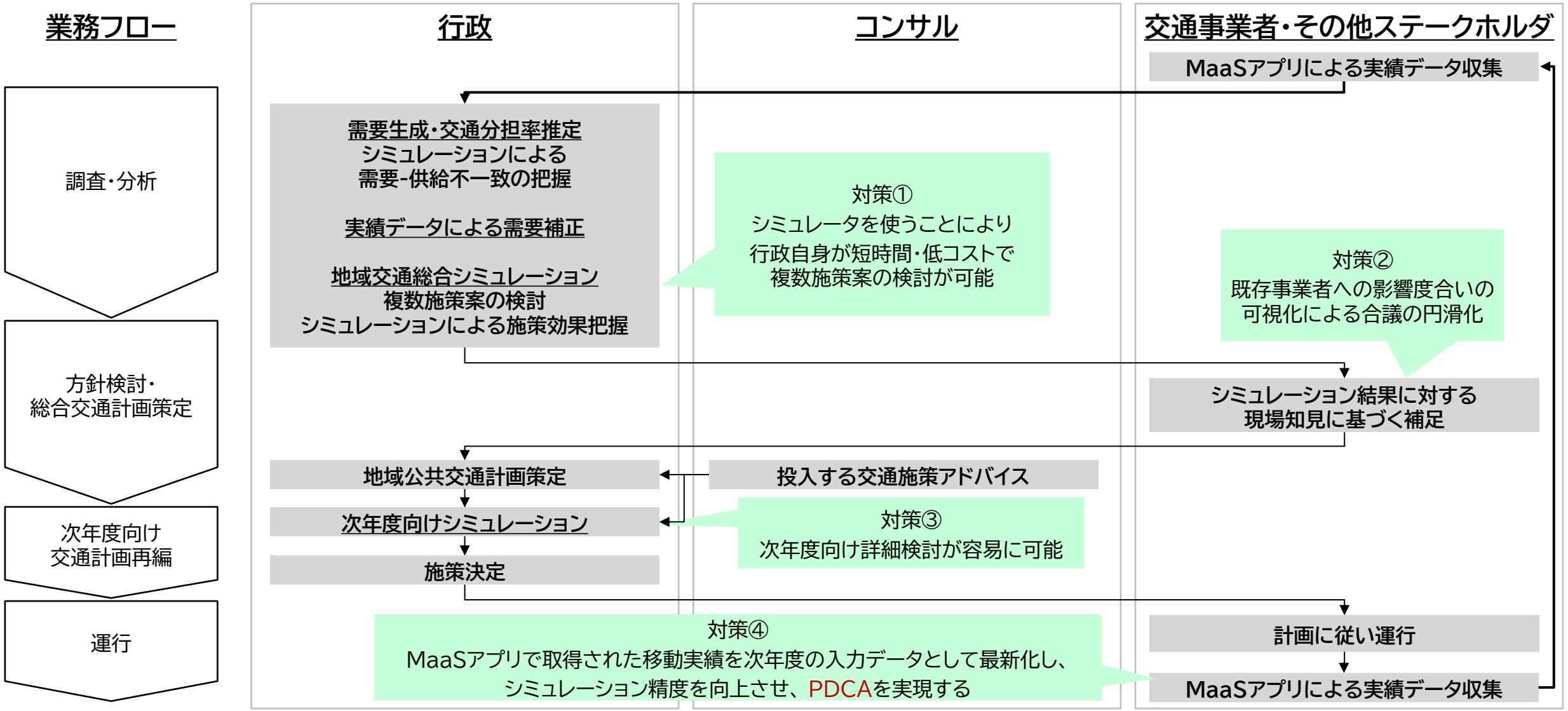
2. システムにより実現する業務フロー(2/3):既存の業務フロー



Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

2. システムにより実現する業務フロー(3/3):改善後の業務フロー



Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

12. 検証計画｜検証仮説

マイルストーンとアウトプット

#	マイルストーン	アウトプット
7月	玉野市地域公共交通会議 第3回(対面開催)	地域公共交通計画 骨子案策定 ルート・ダイヤ変更仮説シナリオのシミュレーション結果が用いられた討議資料および議事録
12月	議会	地域公共交通計画 素案の審議
1月中旬	玉野市地域公共交通会議 第4回(対面開催)	地域公共交通計画 素案策定 ルート・ダイヤ変更の実証実験結果、および仮説シナリオのシミュレーション結果が用いられた討議資料および議事録
1月下旬	意見公募手続 (パブリックコメント)	結果の公示
2月中旬	臨時議会	地域公共交通計画 最終案の審議
2月下旬	玉野市地域公共交通会議 第5回(対面開催)	地域公共交通計画 最終案の決定 シミュレーション結果が用いられた討議資料および議事録、地域公共交通計画

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

12. 検証計画｜KPI

#	測定項目	KPI	事業実施年度の目標値	5年後の目標値	目標値設定根拠	計測方法	計測頻度・回数
1	玉野市交通データ取込機能	交通データ取込時間	交通データ取込時間＜3分	交通データ取込時間＜1分	ITに詳しくない利用者が操作するにあたって許容できる時間	時間計測	テスト時10回
2	玉野市実績データ取込機能	実績データ取込時間	実績データ取込時間＜1時間	交通データ取込時間＜10分	ITに詳しくない利用者が操作するにあたって許容できる時間	時間計測	テスト時10回
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	--	-	-

Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

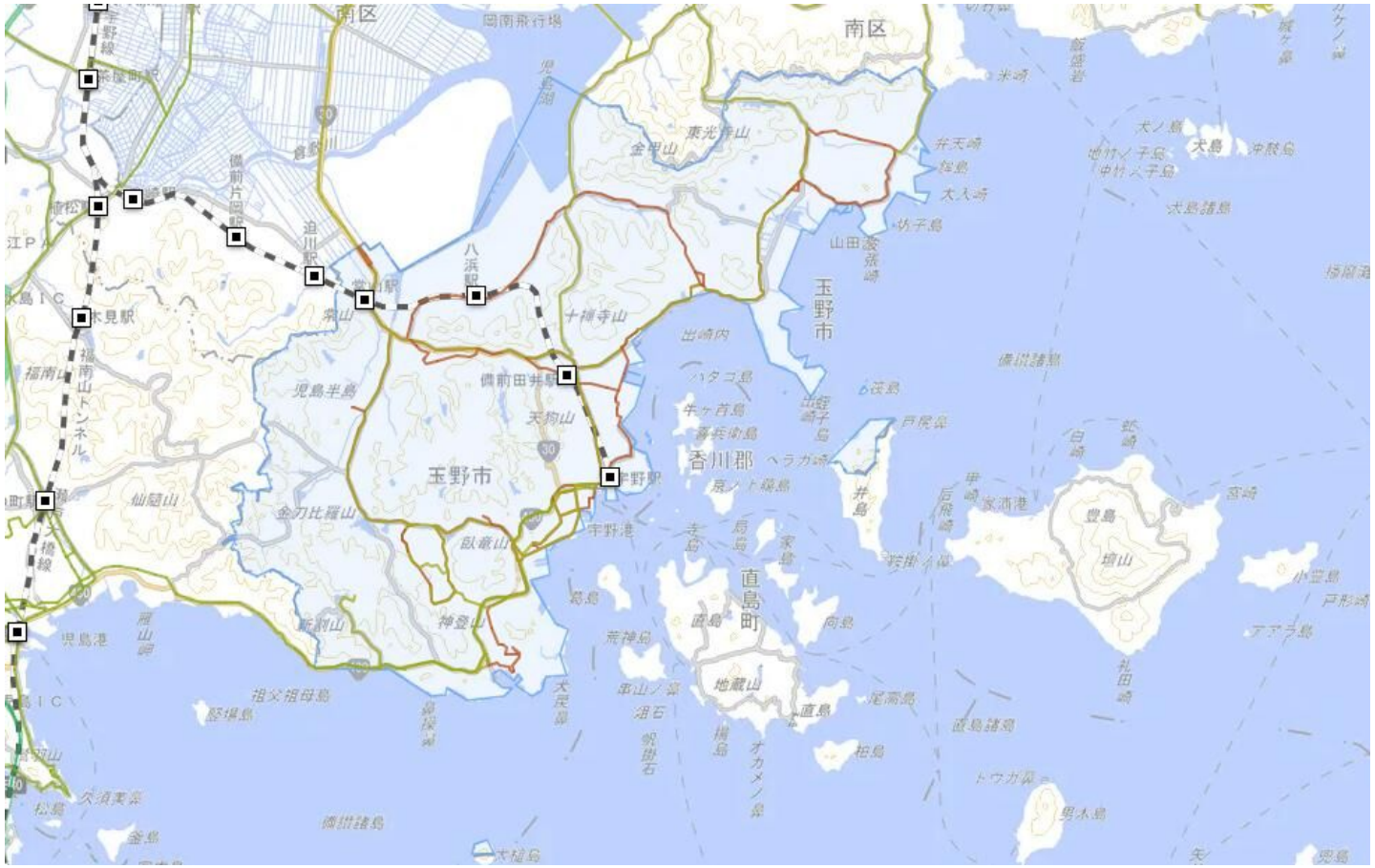
12. 検証計画｜検証メニュー

検証メニュー	実施時期	被験者	実施事項	ステークホルダー
「公共交通運行情報標準データ仕様書（GTFS-JP）v4」対応確認	10月	・ 玉野市	・ インプットデータとして、「公共交通運行情報標準データ仕様書（GTFS-JP）v4」に準拠したデータを入力とし、エラーなくシミュレーション結果が出力されること	・ 岡山大学（インターフェース部分の機能確認）
「乗降実績データ標準仕様書（鉄道・バス）」対応確認	10月	・ 玉野市	・ インプットデータとして、「乗降実績データ標準仕様書（鉄道・バス）」に準拠したデータを入力とし、エラーなくシミュレーション結果が出力されること	・ 岡山大学（インターフェース部分の機能確認）

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

12. 検証計画｜検証エリア｜エリアマップ



出典 ： 国土交通省 MOBILITY UPDATE PORTAL 現状可視化ツール
https://mobility-update.mlit.go.jp/support/transport/visualization/

Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

12. 検証計画｜検証エリア｜サービス提供事業者

参画事業者と対象路線

交通手段	サービス提供事業者名	対象路線
バス	玉野市(シーバス)	玉野市内
	両備ホールディングス株式会社	
	下津井電鉄株式会社	
デマンド交通	玉野市(シータク)	玉野市内

【参考】同エリアを営業エリアに含む非参画事業者の一覧

交通手段	交通事業者名
鉄道	JR西日本　宇野みなと線

Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

13. ステークホルダー一覧

ステークホルダーの名称	役割	連携方法・タイミング	コミット状況
玉野市（協働・交通政策課）	地域交通データの提供およびシミュレーション結果アンケート回答	提案前から協議を実施し、実証実験開始前に運用調整を実施	協力合意済み
国立大学法人岡山大学	シミュレーション結果アンケート回答	説明会参加	協力合意済み
両備ホールディングス株式会社	シミュレーション結果アンケート回答	説明会参加	調整中（6月中）
下津井電鉄株式会社	シミュレーション結果アンケート回答	説明会参加	調整中（6月中）
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

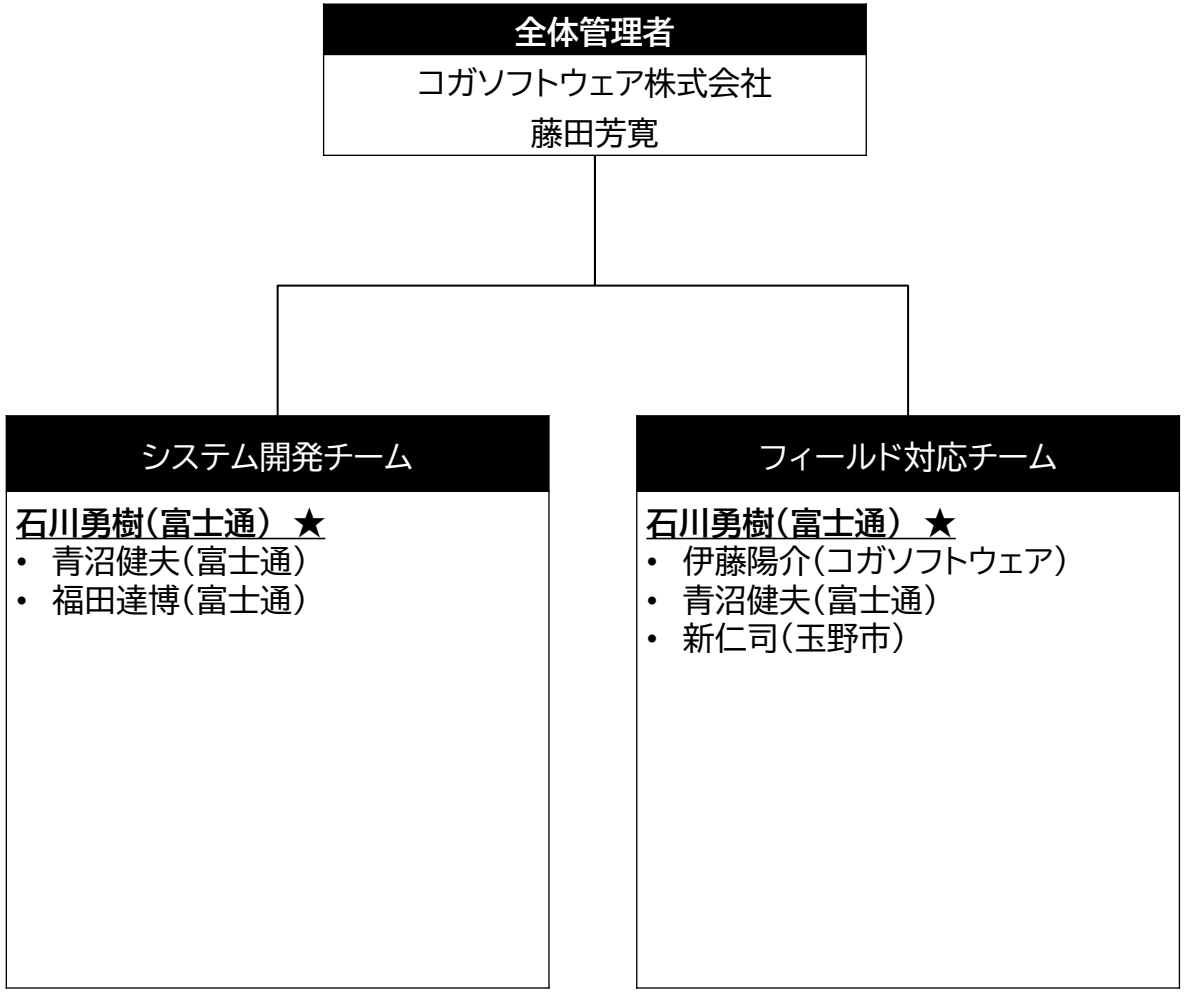
3. リソース｜プロジェクト実施体制一覧（担当業務）

会社名	担当業務（事業者ごと）	部署名	役職	氏名	担当業務（個人ごと）	電話番号	メールアドレス
コガソフトウェア株式会社	全体総括、プロジェクト管理、デマンド交通のODデータ提供	サービス開発事業部　モビリティサービス部	部長	藤田芳寛	全体総括、プロジェクト管理、デマンド交通のODデータ提供	03-3833-0733	y_fujita@kogasoftware.com
			課長	伊藤陽介	プロジェクト管理、デマンド交通のODデータ提供	03-3833-0733	yosuke_ito@kogasoftware.com
富士通株式会社	・企画運営 ・地域交通総合シミュレータ提供 ・乗降実績・GTFS取り込みUI及び標準準拠開発	クロスインダストリー事業本部	シニアマネージャ	石川勇樹	企画運営	080-7738-5776	Ishikawa.yuki.i@jp.Fujitsu.com
		クロスインダストリー事業本部		青沼健夫	シミュレータ保守		aonuma.takeo@fujitsu.com
		クロスインダストリー事業本部		福田達博	開発管理		f.tatsuhiro@fujitsu.com
玉野市	・地域プレイヤーとりまとめ ・シミュレータを用いた地域公共交通策定業務の実施、評価	協働・交通政策課		新仁司	・地域プレイヤーとりまとめ ・シミュレータを用いた地域公共交通策定業務の実施、評価	0863-32-5567	sin-hitosi@city.tamano.lg.jp
国立大学法人岡山大学	・実証協力	学術研究院　環境生命自然科学学域	教授	橋本成仁	・実証協力		seiji@okayama-u.ac.jp

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

公開不可

3. リソース｜プロジェクト実施体制図(意思決定ライン)



Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

【まとめ】玉野市様へのメリットとご依頼事項

FUJITSU

メリット

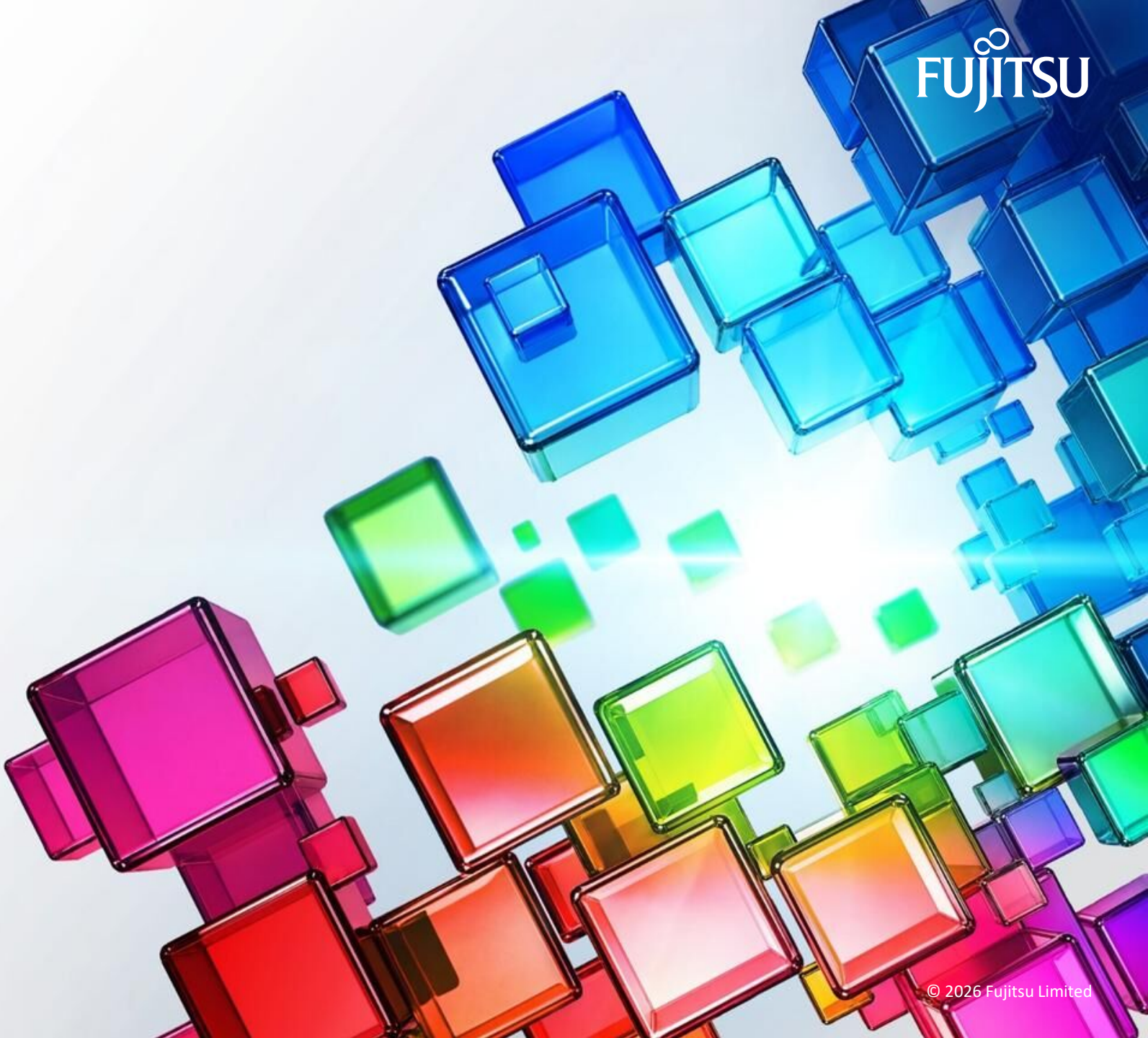
1. 国に認められた地域公共交通計画や路線再編検討に活用できるシミュレータをいち早く体験頂くことができる
2. 採用の暁には、「交通再編検討に活用できるたたき台」を、特殊な知見や技能を用いることなく簡易に作ることができ、議論の効率化や高度化が図れる
3. 周辺自治体にも展開することで、岡山県下の自治体様が広域で「交通空白」解消に効果的に取り組むことができるようになる

ご依頼事項

本事業では、１月、２月あたりで新しい交通再編を議論する公共交通会議にて、シミュレータの出力結果を活用頂くことを目標にしております。皆さまにはそのご認識を頂くことと、公共交通会議の場で、内容に関するご評価（アンケートやヒアリング等）のご協力を賜りたく、何卒よろしくお願いいたします。

© 2026 Fujitsu Limited

END



© 2026 Fujitsu Limited